

OSHIMA SHINKIN BANK REPORT 2012

【渡島信用金庫ディスクロージャー誌】

< 平成24年9月期 半期情報開示 >



「ひまわり」石橋久美

“地域へ感動をそして未来へ”
渡島信用金庫

経営理念

1. 地元とともに使命の発揮
1. 信用・信頼による健全経営
1. 役職員の融和と人材育成

地域貢献活動

○当金庫の地域経済活性化への取組みについて

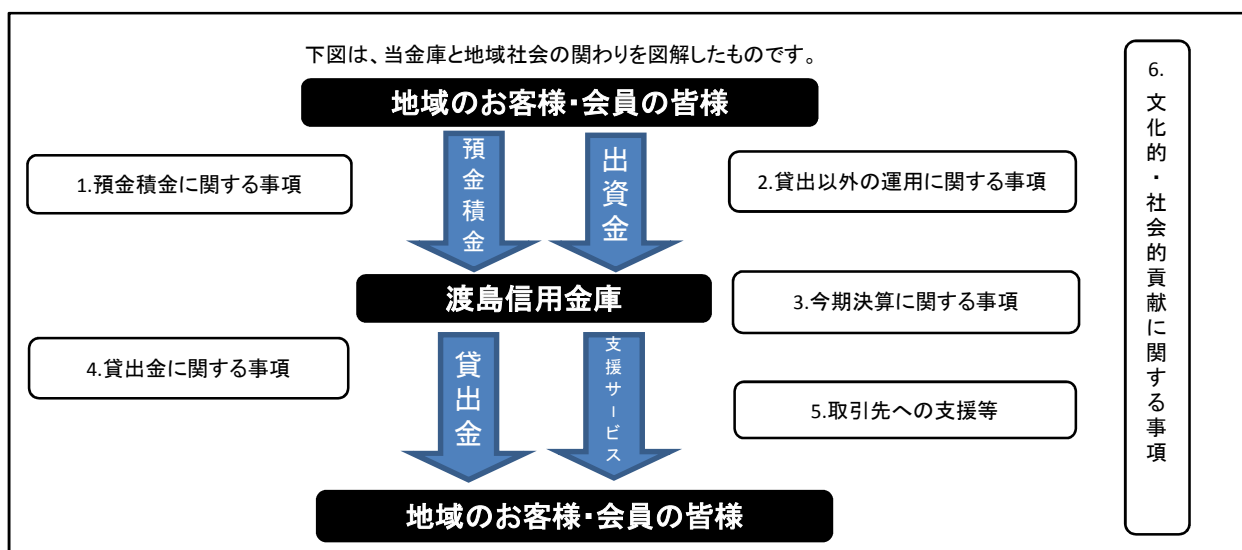
当金庫は、渡島・檜山・後志管内および札幌市・函館市・北斗市を営業区域として、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

渡島信用金庫と地域社会

“地域へ感動を そして未来へ”



貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末	対前期末増減額
貸 出 金	85,133	87,943	91,963	4,020
預 け 金	33,996	30,777	31,129	352
有 価 証 券	16,478	16,410	18,649	2,239
そ の 他 運 用 勘 定	399	399	399	0
現 金	2,384	2,109	3,405	1,296
有 形 固 定 資 産	2,243	2,187	2,162	△ 25
無 形 固 定 資 産	5	4	3	△ 1
そ の 他 資 産	1,501	1,392	1,276	△ 116
貸 倒 引 当 金	△3,185	△ 2,053	△ 2,252	△ 199
資 産 計	138,957	139,170	146,735	7,565
預 金 積 金	131,384	131,663	139,199	7,536
借 用 金	-	-	-	-
そ の 他 負 債	1,398	1,218	1,119	△ 99
負 債 計	132,782	132,882	140,318	7,436
純 資 産	6,075	6,075	6,260	185
当期純利益（又は純損失）	98	212	157	△ 55
負債及び純資産計	138,957	139,170	146,735	7,565

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末	対前期末増減額
経 常 収 益	1,259	2,616	1,368	△ 1,248
業 務 収 益	1,259	2,602	1,366	△ 1,236
臨 時 収 益	0	14	1	△ 13
経 常 費 用	1,103	2,227	1,132	△ 1,095
業 務 費 用	965	1,741	946	△ 795
臨 時 費 用	138	486	185	△ 301
経 常 利 益	156	389	235	△ 154
業 務 純 益	294	860	419	△ 441
特 別 利 益	-	-	-	-
特 別 損 失	0	0	0	0
税 引 前 当 期 純 利 益 (又は税引前当期純損失)	156	388	235	△ 153
法人税・住民税および事業税	2	1	2	1
法 人 税 等 調 整 額	55	174	75	△ 99
当 期 純 利 益 (又は当期純損失)	98	212	157	△ 55

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

貸出金業種別残高

(単位：百万円、%)

業 種 区 分	平成23年9月末	平成24年3月末	平成24年9月末	残高構成比
製 造 業	18,187	16,758	16,528	17.97
農 業、林 業	460	440	427	0.46
漁 業	678	656	621	0.67
鉱業、採石業、砂利採取業	631	625	637	0.69
建 設 業	9,942	9,260	8,934	9.71
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-
情 報 通 信 業	198	194	202	0.21
運 輸 業、郵 便 業	2,583	2,509	3,221	3.50
卸 売 業、小 売 業	3,868	3,895	3,746	4.07
金 融 業、保 険 業	560	557	556	0.60
不 動 産 業	13,273	16,071	20,531	22.32
物 品 賃 貸 業	284	341	285	0.30
学術研究、専門・技術サービス業	1,062	939	855	0.92
宿 泊 業	1,629	1,591	1,559	1.69
飲 食 業	1,570	1,516	1,518	1.65
生活関連サービス業、娯楽業	1,790	2,896	2,923	3.17
教育、学習支援業	35	29	33	0.03
医 療 ・ 福 祉	628	658	645	0.70
そ の 他 サ ー ビ ス	740	685	663	0.72
小 計	58,125	59,628	63,891	69.47
地 方 公 共 団 体	15,062	15,686	15,203	16.53
個 人	11,945	12,628	12,867	13.99
合 計	85,133	87,943	91,963	100.00

(注) 1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

(単位：百万円、%)

区 分		開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証 等による回 収見込額(C)	貸 倒 引当金 (D)	保全率 (B)/(A)	引当率 (D)/(A-C)
金融再生法上の不良債権	平成24年3月末	8,021	7,244	5,830	1,414	90.31	64.55
	平成24年9月末	10,021	9,036	7,339	1,696	90.17	63.27
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成24年3月末	6,423	6,423	5,046	1,377	100.00	100.00
	平成24年9月末	6,240	6,240	4,669	1,571	100.00	100.00
危 険 債 権	平成24年3月末	243	230	195	35	94.57	72.74
	平成24年9月末	479	452	433	18	94.34	40.70
要 管 理 債 権	平成24年3月末	1,354	590	588	1	43.62	0.24
	平成24年9月末	3,300	2,343	2,236	106	70.99	10.03
正 常 債 権	平成24年3月末	80,236					
	平成24年9月末	82,250					
合 計	平成24年3月末	88,257					
	平成24年9月末	92,271					

(注) 1. 「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

2. 各債務者区分の金額は、平成24年4月から9月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実並びに財務状況の変化等が生じた債務者について、当金庫の定める自己査定要領に基づく、債務者区分を随時見直し、債務者区分を変更の上、全債務者について9月末残高に反映しております。

※自己査定における債務者区分との関係

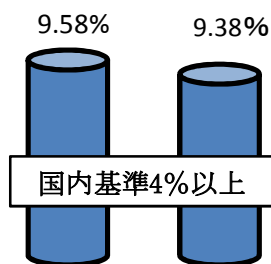
①破産更生債権及びこれらに準じる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)

②危険債権(破綻懸念先の債権)

③要管理債権(要注意先のうち、元金または利息が3ヵ月以上延滞しているか、または、貸出条件を緩和している債権)

3. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

単体自己資本比率(国内基準)



平成24年3月末 平成24年9月末

単体自己資本比率	平成24年3月末	平成24年9月末
	9.58%	9.38%

自己資本比率は、経営の健全性を判断する重要な指標の一つであり、自己資本額が総資産に対し、どの程度の割合であるかを示したもので、その割合が高いほど健全性が高いといえます。自己資本比率は、海外に営業拠点を有しない金融機関は国内基準4%を採用しております。

当金庫の自己資本比率は、内部留保の着実な蓄積と、堅実な経営により9.38%と高い水準にあり、健全性、安全性にはいささかの懸念もありません。

当金庫の自己資本の充実の状況等について

【バーゼルⅡ（新自己資本比率規制）による開示について】

バーゼルⅡとは、2004年6月にバーゼル銀行監督委員会から最終案が公表された金融機関の新しい自己資本比率規制のことです。バーゼルⅡは、①第1の柱（最低所要自己資本比率）②第2の柱（金融機関の自己管理と監督上の検証）③第3の柱（市場規律）の3本の柱で構成されており、平成19年3月期から適用となっております。

そのうちの第3の柱において、開示の充実を通じて市場規律の実効性を高めることとされており、自己資本比率とその内訳、各リスクのリスク量等、定量的な開示事項について、情報開示いたします。

定量的な開示事項

自己資本構成に関する事項

[単体自己資本比率]

(単位:百万円)

項目	平成24年3月末	平成24年9月末
(自 己 資 本)		
出 資 金	547	546
優 先 出 資 申 込 証 拠 金	-	-
資 本 準 備 金	-	-
そ の 他 資 本 剰 余 金	-	-
利 益 準 備 金	547	547
特 別 積 立 金	4,800	4,800
繰 越 金 他	294	451
そ の 他	-	-
処 分 未 済 持 分 (Δ)	1	0
そ の 他 有 価 証 券 の 評 価 差 損 (Δ)	-	-
基 本 的 項 目 (A)	6,188	6,345
一 般 貸 倒 引 当 金	640	661
補 完 的 項 目 不 算 入 額 (Δ)	208	209
補 完 的 項 目 (B)	431	452
自 己 資 本 総 額 【 (A) + (B) 】 (C)	6,620	6,797
控 除 項 目 不 算 入 額 (Δ)	-	-
控 除 項 目 計 (D)	-	-
自 己 資 本 額 【 (C) - (D) 】 (E)	6,620	6,797
資 産 (オ ン ・ バ ラ ン ス 項 目)	64,738	68,113
オ フ ・ バ ラ ン ス 取 引 等 項 目	159	131
オ ペ レ ー シ ョ ナ ル ・ リ ス ク 相 当 額 を 8 % で 除 して 得 た 額	4,182	4,182
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 計 (F)	69,080	72,427
単 体 Tier 1 比 率 (A/F)	8.95%	8.76%
単 体 自 己 資 本 比 率 (E/F)	9.58%	9.38%

(注) 1. 自己資本比率は、「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準」に係る算式に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	平成24年3月末		平成24年9月末	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	64,898	2,595	68,245	2,729
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	64,898	2,595	68,245	2,729
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	7,438	297	6,282	251
法人等向け	35,998	1,439	37,469	1,498
中小企業等向け及び個人向け	3,593	143	3,679	147
抵当権付住宅ローン	3,475	139	3,793	151
不動産取得等事業向け	281	11	74	2
3ヵ月以上延滞等	6,630	265	9,212	368
取立未済手形	3	0	5	0
信用保証協会等による保証付	139	5	147	5
株式会社企業再生機構等による保証付	-	-	-	-
出資等	401	16	401	16
上記以外	6,933	277	7,176	287
② 証券化エクスポージャー	-	-	-	-
③ 複数の資産を裏付とする資産(所謂ファンド)のうち、個々の資産の把握が困難な資産	-	-	-	-
ロ. オペレーショナル・リスク	4,182	167	4,182	167
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	69,080	2,763	72,427	2,897

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。

3. 「3ヵ月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」(「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

4. オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を採用しております。

＜オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法＞

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

6. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

信用リスクに関する事項（証券化エクスポージャーを除く）

信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高
 <業種別及び残存期間別>

(単位:百万円)

エクスポージャー 区分	信用リスクエクスポージャー期末残高									
			貸出金、コミットメント及びその他のデリバティブ以外のオフ・バランス取引		債券		デリバティブ取引		3か月以上延滞エクスポージャー	
	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末
業種区分										
期間区分										
製 造 業	16,758	16,528	16,758	16,528	-	-	-	-	2,173	2,127
農 業、林 業	440	427	440	427	-	-	-	-	1	1
漁 業	656	621	656	621	-	-	-	-	159	156
鉱業、採石業、砂利採取業	640	653	640	653	-	-	-	-	150	153
建 設 業	9,404	9,050	9,404	9,050	-	-	-	-	1,299	1,369
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
情 報 通 信 業	194	202	194	202	-	-	-	-	-	-
運 輸 業、郵 便 業	2,509	3,221	2,509	3,221	-	-	-	-	155	155
卸 売 業、小 売 業	3,927	3,758	3,927	3,758	-	-	-	-	822	833
金 融 業、保 険 業	5,617	5,916	557	556	5,060	5,360	-	-	-	-
不 動 産 業	16,071	20,531	16,071	20,531	-	-	-	-	264	2,068
物 品 賃 貸 業	341	285	341	285	-	-	-	-	-	-
学術研究、専門・技術サービス業	939	855	939	855	-	-	-	-	-	-
宿 泊 業	1,591	1,559	1,591	1,559	-	-	-	-	358	358
飲 食 業	1,516	1,518	1,516	1,518	-	-	-	-	277	331
生活関連サービス業、娯楽業	2,896	2,923	2,896	2,923	-	-	-	-	45	288
教育、学習支援業	29	33	29	33	-	-	-	-	-	-
医 療 ・ 福 祉	658	645	658	645	-	-	-	-	49	47
その他のサービス	685	663	685	663	-	-	-	-	240	194
国・地方公共団体等	27,020	28,484	15,686	15,203	11,334	13,281	-	-	-	-
個 人	12,630	12,869	12,630	12,869	-	-	-	-	451	463
そ の 他	120	160	120	160	-	-	-	-	35	75
業 種 別 合 計	104,652	110,912	88,258	92,271	16,394	18,641	-	-	6,485	8,627
1 年 以 下	13,294	12,580	12,426	11,707	868	873	-	-	-	-
1 年 超 3 年 以 下	7,980	8,782	5,497	6,035	2,483	2,747	-	-	-	-
3 年 超 5 年 以 下	8,402	9,298	5,700	6,608	2,702	2,690	-	-	-	-
5 年 超 7 年 以 下	9,276	9,138	8,966	8,833	310	305	-	-	-	-
7 年 超 10 年 以 下	15,884	13,738	12,707	10,566	3,177	3,172	-	-	-	-
10 年 超	49,810	57,370	42,958	48,518	6,852	8,852	-	-	-	-
期間の定めのないもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
残 存 期 間 別 合 計	104,652	110,912	88,258	92,271	16,394	18,641	-	-	-	-

(注) 1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除く。

2. 「3か月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーのことです。

3. 上記の「その他」は、裏付けとなる個々の資産の全部又は一部を把握することが困難な投資信託等および業種区分に分類することが困難なエクスポージャーです。具体的には、未収利息、仮払金が含まれます。

4. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

5. 当金庫は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地域別」の区分は省略しております。

6. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等

(単位:百万円)

	個別貸倒引当金残高		貸出金償却	
	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末
製 造 業	427	420	1	-
農 業、林 業	-	-	3	-
漁 業	-	-	2	-
鉱業、採石業、砂利採取業	22	21	-	-
建 設 業	441	469	1	-
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	-
情 報 通 信 業	-	-	-	-
運 輸 業、郵 便 業	-	-	-	-
卸 売 業、小 売 業	104	101	4	-
金 融 業、保 険 業	-	-	-	-
不 動 産 業	2	134	-	-
物 品 賃 貸 業	-	-	-	-
学術研究、専門・技術 サ ー ビ ス 業	-	-	-	-
宿 泊 業	107	143	-	-
飲 食 業	93	93	0	-
生活関連サービス業、 娯 楽 業	9	9	-	-
教 育、学 習 支 援 業	-	-	-	-
医 療 ・ 福 祉	10	5	-	-
そ の 他 サ ー ビ ス 業	35	36	-	-
国・地方公共団体等	-	-	-	-
個 人	157	153	0	-
合 計	1,412	1,589	14	-

- (注) 1. 当金庫は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため、「地区別」の区分は省略しております。
2. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。
3. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等

(単位:百万円)

告示で定めるリスク・ウェイト区分(%)	エクスポージャーの額			
	平成24年3月末		平成24年9月末	
	格付適用有り	格付適用無し	格付適用有り	格付適用無し
0%	-	30,357	-	39,012
10%	-	4,963	-	5,798
20%	-	34,931	-	28,663
35%	-	9,992	-	10,909
50%	-	-	-	-
75%	981	5,713	961	5,726
100%	28	46,227	35	47,574
150%	0	6,389	0	8,538
350%	-	-	-	-
自己資本控除	-	-	-	-
合 計		139,586		147,220

- (注) 1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。
2. エクスポージャーは信用リスク削減手法適用後のリスクウェイトに区分しています。
3. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

信用リスク削減手法に関する事項

信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位:百万円)

	適格金融資産担保		保 証		クレジット・デリバティブ	
	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末	24年3月末	24年9月末
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー	746	727	1,370	1,413	-	-

(注) 1. 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いています。

2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

銀行勘定における出資その他これに類するエクスポージャー又は株式等エクスポージャーに関するリスク管理の方針及び手続の概要

リスクの状況は、財務諸表や運用報告を基にした評価による定期的なモニタリングを実施するとともに、その状況については、経営陣へ報告を行うなど、適切なリスク管理に努めるとともに、当該取引にかかる会計処理については、日本公認会計士協会の「金融商品会計に関する実務指針」に従った、適正な処理を行っております。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月末	平成24年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
満期保有目的の債券 非上場外国債券	-	-
子会社・子法人等株式 及び関連法人等株式	10	10
その他の有価証券 非上場株式等	416	416
合 計	426	426

(注)1. 当金庫が保有する子会社・子法人等株式及び関連法人等株式に関する表については本表に内容を記載し、表の作成を省略しております。

2. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

銀行勘定における金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

運 用 勘 定			調 達 勘 定		
区 分	金利リスク量		区 分	金利リスク量	
	平成24年3月末	平成24年9月末		平成24年3月末	平成24年9月末
貸 出 金	436	407	定期性預金	980	1,146
有 価 証 券 等	495	611	要求払預金	281	302
預 け 金	114	108	そ の 他	-	-
コ ー ル ロ ー ン 等	-	-	調達勘定合計	1,261	1,449
そ の 他	-	-			
運用勘定合計	1,046	1,126			

銀行勘定の金利リスク	0	0
------------	---	---

(注)1. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。

2. 当金庫は、金利ショックを「99%タイル値又は1%タイル値」で計算し、金利リスク量は「ラダー方式」にて算出しております。

3. 銀行勘定の金利リスク量は、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算出しております。

4. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

有価証券の時価及び評価損益

売買目的有価証券

該当するものではありません。

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

区分	種類	平成24年3月末			平成24年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	8,852	9,078	225	9,852	10,288	436
	地方債	909	916	7	909	936	27
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	1,000	1,006	6
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	9,761	9,994	233	11,761	12,231	469
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-
合計	9,761	9,994	233	11,761	12,231	469	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。
 4. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

その他有価証券

(単位:百万円)

区分	種類	平成24年3月末			平成24年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	19	11	8	2	2	0
	債券	6,484	6,377	107	6,551	6,440	111
	国債	458	449	8	369	362	6
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	6,025	5,927	98	6,182	6,077	104
	その他	-	-	-	-	-	-
小計	6,503	6,388	115	6,554	6,442	112	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	4	11	△7	11	20	△9
	債券	119	119	△0	299	300	△0
	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	短期社債	-	-	-	-	-	-
	社債	119	119	△0	299	300	△0
	その他	-	-	-	-	-	-
小計	123	131	△7	311	320	△9	
合計	6,627	6,520	107	6,865	6,763	102	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。
 4. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

※平成24年9月末の計数については、当金庫が任意で開示しているものであり、監査法人の監査は受けておりません。

金融円滑化に係る取組状況

1. 中小企業者等に対する金融円滑化を図るための臨時措置に関する法律第4条、第5条に基づく措置の実施状況

◎ 中小企業・個人事業主のお客様への取組状況

(単位：件、百万円)

	平成24年3月末		平成24年9月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等のお申込みを受けた貸付債権	178	17,085	211	21,885
内、実行に係る貸付債権	110	14,429	136	17,886
内、謝絶に係る貸付債権	48	1,929	51	3,195
内、審査中の貸付債権	0	0	3	41
内、取下げに係る貸付債権	20	726	21	761

◎ 住宅資金をご利用のお客様への取組状況

(単位：件、百万円)

	平成24年3月末		平成24年9月末	
	件数	金額	件数	金額
貸付の条件の変更等のお申込みを受けた貸付債権	18	186	19	211
内、実行に係る貸付債権	8	94	9	101
内、謝絶に係る貸付債権	4	52	5	77
内、審査中の貸付債権	1	6	0	0
内、取下げに係る貸付債権	5	32	5	32

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって最も必要な社会的使命です。

渡島信用金庫は、お客様からの資金需要や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組みます。

3. 苦情相談窓口

金融円滑化に係る苦情相談は、次の相談窓口をご利用ください。

渡島信用金庫 経営監査部 電話番号01374-2-2024 (代表電話)

ご相談・苦情・要望等の概要

金融商品・サービスに関する苦情や紛争解決を、訴訟に代わり迅速・公平に行うため、金融ADR制度を導入いたしました。

お客様が苦情・紛争についてお申し出される場合はお取引のある営業店または、経営監査部にお申し出ください。

「渡島信用金庫 経営監査部」

住所 〒049-2326 北海道茅部郡森町字御幸町115番地

電話 01374-2-2024 (代表電話)

FAX 01374-2-6682

Eメール kansa@oshima-shinkin.jp

「北海道地区しんきん相談所((社)北海道信用金庫協会)」

住所 〒060-0005 札幌市中央区北5条西5-2-5

電話 011-221-3273

「全国しんきん相談所((社)全国信用金庫協会)」

住所 〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7

電話 03-3571-5825

札幌弁護士会、東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会の仲裁センター等で紛争の解決を図ることも可能ですので、経営監査部または全国しんきん相談所等へお申し出ください。

◆ トピックス (平成24年4月から9月まで) ◆

- ・ 5月12日 **第16回 渡島信用金庫理事長杯市町対抗ゲートボール大会開催**
森町青葉ヶ丘公園の満開の桜を觀賞しながら、営業地区内の本・支店を代表するチームにより熱戦が繰り広げられ、東川ゲートボール愛好会A（函館地区）が優勝いたしました。

- ・ 6月1日～
6月7日 **平成24年度 地区別総代懇談会**
理事長自ら各地区の総代を訪問して、当金庫の現状を報告し、総代を通して会員皆様のご意見、ご要望などを拝聴し、経営に反映させております。

- ・ 6月18日 **第101期 通常総代会**
当金庫本店3階大会議室にて、総代66名中66名（委任状含む）のご出席を賜り、提出議案のご承認をいただきました。

- ・ 7月7日 **第62回 全道信用金庫野球大会 道南地区大会**
森町で開催された道南地区大会は、惜しくも初戦にて敗退いたしました。

- ・ 7月13日 **献血活動**
当金庫本店前で献血活動を行い、職員も多数献血いたしました。

- ・ 7月28日 **第17回 渡島信用金庫杯争奪市町対抗ゴルフ大会開催**
第17回大会となる今大会は、各地区予選を勝ち抜いた選手により、熱戦が繰り広げられ、団体戦は、上磯チームが優勝いたしました。

- ・ 8月2日 **函館港まつりイベント「ワッショイはこだて・いか踊り」参加**
函館開港153周年記念函館港まつり 『ワッショイはこだて』のいか踊りに「はこだて渡島会」からの要請を受け、総勢約200名が十字街・松風コースをパレードいたしました。

営業地区・店舗のご案内



営業地区(3市9町2村)

茅部郡 / 森町、鹿部町
 二海郡 / 八雲町
 山越郡 / 長万部町
 亀田郡 / 七飯町
 瀬棚郡 / 今金町
 久遠郡 / せたな町
 虻田郡 / 豊浦町、真狩村
 留寿都村、喜茂別町
 北 斗 市
 函 館 市
 札 幌 市

※地図上の番号は、下記の店舗番号です。

店舗のご案内

(平成24年9月末現在)

①	○ 本 店	茅 部 郡 森 町 字 御 幸 町 115	電 話 (01374) 2 -2024
②	砂 原 支 店	茅 部 郡 森 町 字 砂 原 1 丁 目 43-4	電 話 (01374) 8 -3232
③	鹿 部 支 店	茅 部 郡 鹿 部 町 字 鹿 部 80-3	電 話 (01372) 7 -2334
④	南茅部支店	函 館 市 川 汲 町 1607 - 2	電 話 (0138) 25 -3450
⑤	大野支店	北 斗 市 本 町 1 丁 目 5 - 10	電 話 (0138) 77 -8111
⑥	○ 八雲支店	二 海 郡 八 雲 町 本 町 209	電 話 (0137) 62 -2158
⑦	○ 新せたな支店	久遠郡せたな町北檜山区北檜山421	電 話 (0137) 84 -5014
⑨	今 金 支 店	瀬 棚 郡 今 金 町 字 今 金 62	電 話 (0137) 82 -0352
⑪	○ 函 館 支 店	函 館 市 松 風 町 5 番 9 号	電 話 (0138) 23 -7191
⑫	五 稜 郭 支 店	函 館 市 五 稜 郭 町 12 番 16 号	電 話 (0138) 53 -9111
⑬	○ 亀 田 支 店	函 館 市 美 原 4 丁 目 18-31	電 話 (0138) 46 -3391
⑭	上 磯 支 店	北 斗 市 久 根 別 2 丁 目 10-10	電 話 (0138) 73 -8600
⑮	○ 赤松街道支店	亀 田 郡 七 飯 町 大 川 3 丁 目 2-10	電 話 (0138) 66 -5111
⑯	○ 札 幌 支 店	札 幌 市 中 央 区 北 2 条 西 3 丁 目 1	電 話 (011) 213 -4141
		敷島ビル1F	

※ ○の店舗は営業時間が平日午前9時から午後4時までとなっております。

なお、札幌支店については平日午後4時から午後6時まで、ローンプラザを開設しております。

地域貢献商品

① 住宅ローン「暖」

融資金額6,000万円以内、40年以内の返済期間、5年間の元金据置を可能とし、通常の住宅ローンの他、他金融機関住宅ローン借換、消費財資金等も一緒にご利用いただけるなど、地域経済活性化のための商品をご提供しております。

② 住宅ローン「彩光」

融資金額6,000万円以内、35年以内の返済期間、団体信用生命保険もしくは三大疾病保障特約付団信で団信保険料は無料となっております。他金融機関住宅ローン等借換による返済額軽減、一戸建住宅購入資金、増改築資金等にもご利用いただけるなど、快適な暮らしを実現できる商品をご提供しております。

③ 「お困りの方どうぞローン」

各種消費資金、クレジット、消費者金融、個人借入などの負債整理資金にもご利用いただけます。融資金額500万円以内、返済期間10年以内で、毎月の返済額の軽減化を図り、健全で安定した生活基盤を確立することにより、消費者金融に関する社会問題解決の一助として、地域社会に貢献しております。

④ ベンチャー企業支援資金「KITAI」(期待)

当金庫営業区域内で新たに創業を計画している事業者で、地域経済への貢献が認められる個人、法人を対象に、ベンチャー企業の育成を支援する融資商品「KITAI」を発売しております。

⑤ 事業活性化支援資金「楽ちん」

中小零細企業を取り巻く環境が厳しい中、地域経済の活性化をはかるための融資商品で、他金融機関借入の借換等、借入の見直しを行うことで資金繰りの安定化をはかり、健全経営に資することを目的に発売しております。

※ 上記の内容につきましては、平成24年9月末現在の内容を記載しております。
なお、詳しい内容につきましては、当金庫本・支店窓口までお問い合わせください。

商品一覧

【 融 資 商 品 】

お困りの方どうぞローン



皆さんの生活、応援します。
お困りの方
どうぞローン
借入額最大900万円
おしま信用金庫

事業活性化支援資金「楽ちん」



事業活性化支援資金「楽ちん」
最長25年返済
借入額最大100万円
おしま信用金庫

住宅ローン「暖」



住宅ローン「暖」
借入額最大600万円
融資利率 3.00%～6.00%
おしま信用金庫

住宅ローン「彩光」



住宅ローン「彩光」
借入額最大600万円
融資利率 2.80%
おしま信用金庫

おしんマイカーローン



おしん
マイカーローン
借入額最大200万円
融資利率 2.25%～2.20%
おしま信用金庫

おしん多目的ローン



おしん
多目的ローン
借入額最大500万円
融資利率 3.25%～4.75%
おしま信用金庫

おしん学費ローン



おしん
学費ローン
借入額最大100万円
融資利率 2.20%
おしま信用金庫

ベンチャー企業支援資金「KITAI」



ベンチャー企業支援資金
「KITAI」
借入額最大500万円
おしま信用金庫

【 年 金 ・ 預 金 商 品 】

年金自動受取り



おしま信金
年金自動受取り
おしま信用金庫

おしん感謝預金



おしん感謝預金
借入額最大500万円
融資利率 0.28%～0.48%
おしま信用金庫

100万円貯めてみませんか！



おしん信金の定期預金
100万円貯めてみませんか！
おしま信用金庫

KENZEN



KENZEN
定期預金
おしま信用金庫

“地域へ感動をそして未来へ”

渡島信用金庫